てんえいしょう だより

「てらす笑顔がひろがる　みんなが主役
笑顔をたいせつに　いつでもやさしい天栄小学校

鈴鹿市立天栄小学校
発行　校長 松岡 宏樹
令和８年11月16日
No.22

カラー版は
ホームページで

ご家庭とともに育む 子どもの笑顔と成長の工夫
～就学時健診・保護者向け講演より～

令和8年11月4日(水)、令和9年度入学生を対象に、就学時健診を行いました。子どもたちが、健診を受けている間、本校教員の神原より保護者の皆様へ「子どもの成長と関わり方」についてお話しさせていただきました。新入生対象のお話でしたが、1年生から6年生まで、どの学年のご家庭にも共通する内容でしたので、ここで紹介します。日々の生活やご家庭での関わりのヒントとして、ぜひご活用ください。



【 普段の生活で大切にしたいこと 】

●気持ちを伝える「あいさつ」の習慣

「おはようございます」は自分の思いを伝える第一歩です。特に「ありがとう」はお互いの心をつなぐ温かい言葉であり、「ごめんなさい」と言える素直さが気持ちよい関係を作ります。

●基本的生活リズムの確立(早寝・早起き・朝ごはん)

規則正しい生活習慣は、毎日の健康だけでなく、学校での集中力や学習の基盤となります。朝しっかりごはんを食べて登校することで、1時間目から気持ちよく学習や運動に取り組むことができます。



●身の回りの整理整頓(自分のものを整える)

玄関で靴をそろえることや、自分の引き出し・ランドセル・ロッカーなど身の回りの整理整頓を習慣づけましょう。自分のスペースを管理する力は、集団生活での自立につながります。

【お家での子どもへの関わり方】

●結果だけでなく「過程(頑張り)」を具体的に褒める

「上手にできたね」という結果だけでなく、「ここまであきらめずに頑張ったね」とプロセスの努力を具体的に言葉にして認めましょう。失敗を恐れずにチャレンジした経験や工夫を評価することが、次の意欲を生み出します。



●1日5分、子どもとしっかり向き合う時間をつくる

忙しい日々の中でも、1日5分間だけで構いません。しっかり子どもの目を見て話を聞き、向き合う時間を持ちましょう。短い時間であっても、毎日の「向き合う積み重ね」が子どもの深い安心感と親子間の強い信頼関係を育みます。



●ありのままの存在を認め「自己肯定感」を育む

他人と比べるのではなく、その子自身の成長や思いを受け止めましょう。「そのままのあなたが大好きだよ」という温かい関わりが、自尊感情や自己肯定感を高め、将来様々なことに挑戦する自信となります。

絵本の紹介～きみのことが　だいすき

先日の就学時健診の締めくくりに、絵本の読み聞かせを行いました。読んだ絵本は、『きみのことが だいすき』(いぬい さえこ 作・絵)です。お話を聞きながら、心がじわっと温かくなるような優しい気持ちになりましたので、ぜひ皆様にも知っていただきたくご紹介いたしました。ご家庭での読み聞かせや、お子様とのふれあいの時間に手に取ってみてはいかがでしょうか。

君が何に怒っているのかは、
わからない。
私にわかるのは、きみが今
とても困っていること。
とても悲しんでいること。
だから、今は、（　　）するね。
心を（　　）するね。
「きみのことが　だいすき」から



（　　）の中は、どのような言葉でしょうか？

こちらの絵本もおすすめです。

さつまいもほり

秋になって、以前に植えたサツマイモが大きく育ってきました。就労支援事業所「ともに」、地域ボランティアの皆さんにサポートしていただいて、こどもたちはサツマイモの収穫を楽しむことができました。ご協力ありがとうございました。収穫したサツマイモは家に持ち帰ったり、学年によっては、授業で調理したりするそうです。楽しみですね。



運動会～徒競走

運動会当日に降雨のためできなかった徒競走を、10月28日(水)に行いました。平日にも関わらず多くの保護者の皆さんに見てもらい、声援を受けながら、子どもたちは一生懸命走っていました。

